

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス すてっぷ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 3日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年 2月 3日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	建物も人数もごちゃまじりしていて、人との距離感がいい具合で近いです。街中でなくどちらかと言えば山の際という立地も、建物の素朴さも、遊べる庭があることも、公園や寺社仏閣が近くにたくさんあることも、すべてがよいように働いています。	外で遊べる時には、外に行くようにしています。体を動かして、夏には汗もかいて、冬には温まって、いい空気をいっぱい吸って。季節の移り変わり、天気の変り、風の向きやにおい、気圧の変化、などを直接肌で感じながら。外に出てみましょう。お散歩をしてみましょう。サッカーをしましょう。	外遊びが魅力的な自然なご褒美。そこに向かう推進力が湧き出てお勉強も頑張れる。そんなところにも期待しています。場面の切り替え、環境の再設定、先の見通し…。そのためのヒントがたくさんありそうです。
2	スタッフと利用者さまはもちろん、保護者さまや関係機関各所と、より密な「濃い」コミュニケーションが取れる関係性を築き、育むことができていると自負しています。	利用者さま(お子さま)を多面的、重層的に理解しようというアプローチを心がけています。保護者さまに対しても、放デイであったことをより多く・より細かく知っていただきたい。保護者さまの立場にも立って考えたい。時にリードも、フォローもしたい。そのように考えています。	連絡、相談、お知らせなどの一層の充実を図ります。細かい連絡のやりとり、問題の発見と提示、関係機関との連携、ネットワークの構築。学校生活の充実のための後方支援。ご本人だけでなくご家族の支援ともなれるよう。地域における一拠点としての役割も担ってまいります。

3			
---	--	--	--

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	場所・建物が手狭になってきていることは否めません。施設・設備の簡素化・構造化が再び必要です。	経年による劣化、老朽化、複雑化。	もっとシンプルに、整理整頓が必要です。取捨選択をし、優先順位をつけて無駄を省き、より安全に過ごすことができる環境の再設定、活動スペースの確保を図ります。
2	昨年度・今年度と専門職の退職が複数ありました。	業界の体質としての職員の定着率の低さ、離職率の高さ。	職員ひとりひとりに対するケアとフォロー。職員の研修・教育。専門性の維持と向上。人材の育成と確保。より高い専門性の獲得。「はたらきかた」の再考。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス すてっぷ
------	-----------------

公表日 2026年3月13日

利用児童数 2026年2月28日

回収数 15

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	2		1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10			5	・先生が1対1で遊んでくれることもあり、子どもが喜んでいる。	・子どもたちと遊べて、大人も嬉しいです！
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	2		3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12			2		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13			1	・とても理解してくれていると感じていますが、特性が強くなる場面が通所中にあまりあるわけではないと思うので。	・多面的、重層的に理解しようというアプローチをしています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1				
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13			2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1		4		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	3	2	5	・地域の公園へ行ってくれる。	・子どもたちは外遊びが大好き。気候と天気とがよいときには、みんなで公園に繰り出します。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2	3	5		
保護者 への 説明等	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12	2		1	・送迎のときに様子を伝えてくれる。・連絡帳でのやりとり、楽しく話せてもらっています。また、悩みを聞いたときには寄り添い、対応してもらい、とても助けられました。	・いろいろな場面、あらゆる方法で、保護者さまとお話するのは大事なことで考えています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	3	3	2		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1		1	・楽しみに通所で遊んでいる。	・スタッフも楽しみにお待ちしております。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	5	6	・夏祭りの行事に親や兄弟も参加できるという点が良いと思う。	・ご家族さまもお迎えする行事を企画します！
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1		2		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14			1		
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	2	1	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	3				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1		1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1		3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14				・送迎時の先生とのおしゃべり含め、とても楽しく過ごしていると感じる。	・少人数でいられる車内でのお話も楽しいものです。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15				・色々なイベントも企画して頂き、帰宅後のお土産話をいつも楽しく聞いています。	・放デイでの時間も楽しく、それをそのまま持って帰っていただく。それも大事なことです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス すてっぷ		2026年 3月 13日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		・もう少し職員の人数を増やしてほしい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・適切とまでは言い切れないが工夫はしていると思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・2Fの利用など。	
業務 改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		・もう少し機会があれば良いと思う。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	3		
適切 な 支 援 の 提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	・全職員への情報の共有。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		・共通認識は図れていないと思う。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	2		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	・定期的な計画の更新。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	・1日の予定は確認できている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・1日の振り返りはできている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	2		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・丁寧な説明と内容の復習。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	3		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	2		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				